

●施工の前には必ずこの説明書をよくお読みいただき、この説明書の内容にそって正しく取り付けてください。

安全に関するご注意

安全上の警告・注意事項を必ず守ってください。

警告 誤った取り扱いをすると、「人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される」内容です。

注意 誤った取り扱いをすると、「人が傷害を負う可能性及び物質的損害の発生が想定される」内容です。

このような絵表示は、禁止の行為であることを告げるものです。

このような絵表示は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

警告

<p>水場使用禁止</p> <p>浴室など湿気の多い場所には設置しない。 (火災や感電の原因になります。)</p>	<p>禁止</p> <p>交流 100V 以外では使用しない。 (火災や感電の原因になります。)</p>	<p>アース接続</p> <p>アース (D種接地工事 100Ω以下) を確実に取り付ける。 (アース工事を行わないと故障や漏電のとき、感電の原因になります。)</p>
<p>禁止</p> <p>水道水及び飲用可能な井戸水 (地下水) 以外は使用しない。 (皮膚の炎症などを起こす原因になります。)</p>	<p>禁止</p> <p>漏電保護プラグやコードが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいまま使用しない。 (火災や感電の原因になります。)</p>	<p>必ず守る</p> <p>漏電保護プラグは根元まで確実に差し込む。 (プラグを根元まで確実に差し込まないと火災や感電の必ず守る原因になります。)</p>

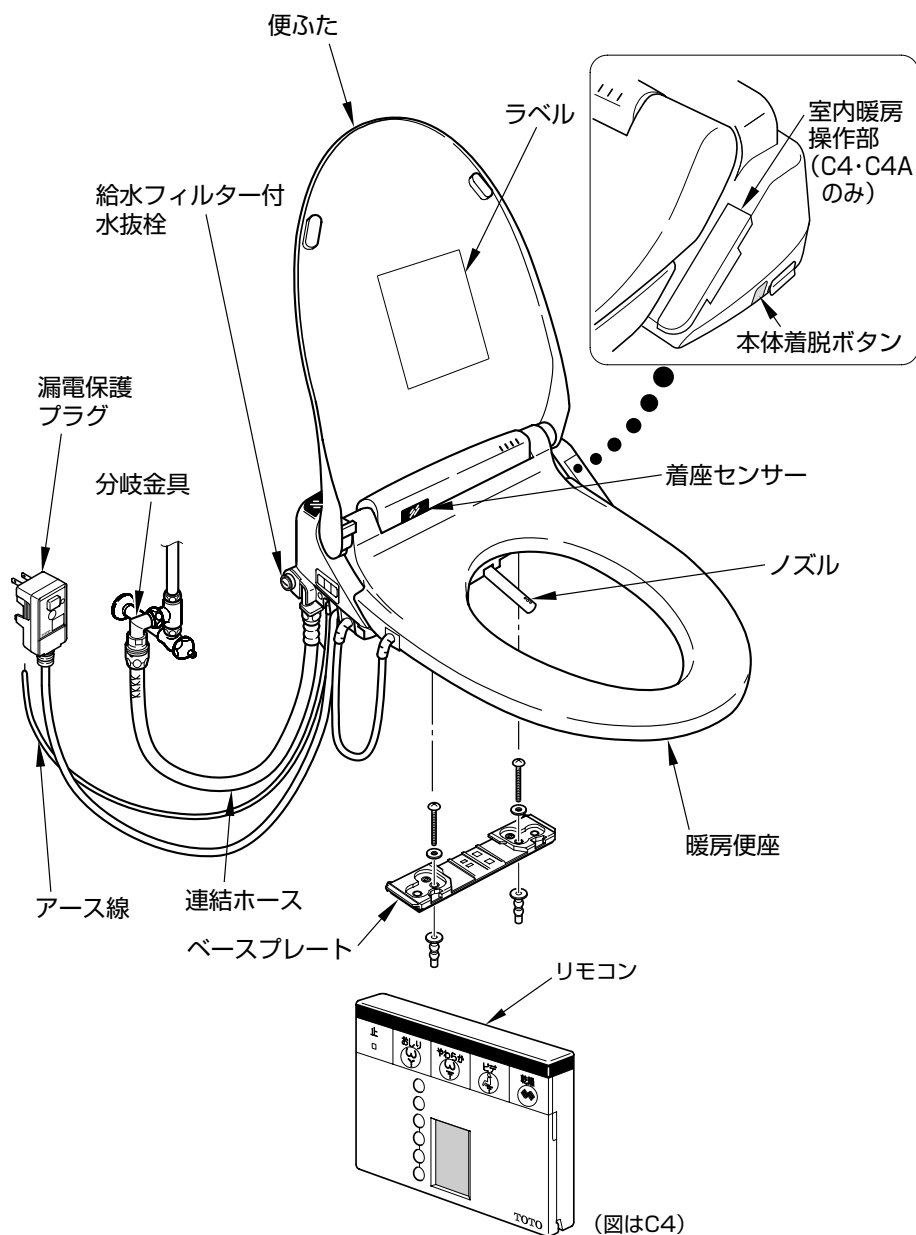
注意

<p>禁止</p> <p>止水栓を開けたままで給水フィルター付水抜栓を取りはずさない。 (水が噴き出します。)</p>	<p>必ず守る</p> <p>給水フィルターを掃除した後は、給水フィルター付水抜栓を確実に締める。 (確実に締めないと水漏れの原因になります。)</p>	<p>禁止</p> <p>連結ホースを折り曲げたり、つぶしたりしない。 (水漏れの原因になります。)</p>	<p>禁止</p> <p>便座・便ふたを持って製品を持ちあげない。(本体がはずれて落下し、けがをする原因になります。)</p>
--	---	---	--

取り付け前のご注意

- 製品への通電及び通水は取付作業をすべて終えてから行ってください。
- 電源は交流 100V (50/60Hz)、定格消費電力は C4, C4A : 1374W、その他 : 1277W です。必ずこの電力に適した配線をしてください。(専用配線をおすすめします。)
- 電源コードの長さは約 1m です。コンセントの位置はウォシュレットが着脱できる余裕を設けてください。
- 給水圧力範囲は 0.05MPa ~ 0.75MPa です。この圧力範囲でご使用ください。
- 給水温度は 0 ~ 35℃ です。この温度範囲でご使用ください。
- 連結ホースの長さは 970mm です。給水取り出し位置は、ウォシュレットが着脱できる余裕を設けてください。もし連結ホースの長さが足りない場合は、**③連結ホースの接続の④項**に長い連結ホースを記載していますので、適切な長さのホースを選んでください。
お求めは TOTO パーツセンター ☎ 0120-8282-55 へお電話ください。

各部の名称



部品の確認

- ウォシュレット本体
- リモコン部品
 - リモコン (図は C4) リモコンハンガー
 - アンカープラグ (3ヶ)
 - ねじ (3ヶ)
 - リモコン用乾電池 (単三形 × 2ヶ)
- ベースプレート部品
 - ベースプレート (ストッパー付)
 - ボルト (2ヶ)
 - ゴムブッシュ (2ヶ)
 - 座金 (2ヶ)
- 分岐金具
 - パッキン (2ヶ)
- 連結ホース (パッキン付)
- 取扱説明書 (保証書付) 使いかた説明シート 施工説明書 (本書) フック
- リモコン便器洗浄ユニット (C1A・C2A・C3A・C4A タイプのみ)
 - ※箱の中に便器洗浄ユニットの部品及び施工説明書が入っています。

取付方法

1 分岐金具の接続

一般のロータンクへ接続する場合

1 止水栓を閉め、給水管を取りはずす。

②上下のナットをゆるめる

③給水管を取りはずす

①止水栓を閉める

2 分岐金具を止水栓に取り付ける。

①袋ナットを止水栓に締め付ける

バックシム

※給水カプラは下に向ける

3 給水管の止水栓側を切断する。

差込部分10~15mmを必ず確保する

パイプカッター

10~15mm

POINT!
給水管の切断はパイプカッターを使用してください。切断後は切粉などを取り除いてください。

接続部にテーパリングを使用している場合

接続部にテーパリングを使用していない場合

給水管
袋ナット
テーパリング
バックシムガイド
バックシム
差込代約10~15mm

給水管
袋ナット
スリップワッシャー
ゴムバックシム
差込代約10~15mm

POINT!
部品の順番、向きを間違えないでください。

4 給水管を取り付ける。

①ロータンク（ボールタップ）側の袋ナットを締め付ける

袋ナット

②分岐金具側の袋ナットを締め付ける

注意
ボールタップ本体が回らないようにしっかり持って袋ナットを締めてください。ボールタップが傾いて取り付けられると止水不良の原因になります。

ボールタップ本体
袋ナット
ロータンク

ワンピース便器へ接続する場合

1 止水栓を閉める。

2 ふさぎふたとゴムバックシムを取りはずす。

ワンピース便器

ゴムバックシム
ふさぎふた

3 分岐金具を止水栓に取り付け、ふさぎふたとゴムバックシムを取り付ける。

ふさぎふた
ゴムバックシム
止水栓
バックシム（付属品）
分岐金具

フラッシュバルブへ接続する場合

フラッシュバルブへ接続する場合は、別売品のTH484（フラッシュバルブの給排水心120mm用）又はTH484-1（低圧フラッシュバルブ用）が必要となります。お求めはTOTOパーツセンター ☎ 0120-8282-55 へお電話ください。

右給水の隅付タンクへ接続する場合

隅付タンクの給水が向かって右側の場合は、連結ホースが短いので別売品のTCA58が必要となります。お求めはTOTOパーツセンター ☎ 0120-8282-55 へお電話ください。

2 便器への取り付け

一般の便器への取り付け

1 ベースプレートの取付方向を確認する。

POINT!
前図と表示している面が表側です。前と表示している方を便器の先端側に向けます。

旧公団用取付穴

後

前

標準(140)

2 ベースプレート表側から座金、ボルトを差し込み、裏側からゴムブッシュを4~5山程度ねじ込む。

ボルト

座金

ベースプレート

ゴムブッシュ

3 ゴムブッシュを便器取付穴に差し込み、上面からドライバーでボルトをかるく締めておく。

POINT!
ゴムブッシュの表面を水でぬらしておくと差し込みやすくなります。

便器取付穴

4 本体を「カチッ」と音がするまでベースプレートに押し込む。

POINT!
本体の中心とベースプレートの中心が合うようにして、本体を押し込むと位置が合わせやすくなります。

カチッ

ベースプレート

5 本体がまっすぐに取り付くことを確認し、一旦本体を取りはずす。

POINT!
本体は本体着脱ボタンを押したまま手前に引くとはずせます。

本体着脱ボタン

6 ベースプレートが便器にあたるまでボルトをしっかり締めた後、再び本体を「カチッ」と音がするまで押し込む。

POINT!
バックシムがつぶれて、ベースプレートが便器にあたるまで締め付けてください。

ベースプレート

ボルト

バックシム

便器

便器

※本体を便器に取り付けた際、上下左右に若干のガタツキが発生します。（これは、本体ワンタッチ着脱方式を行うために設けたスライド部の隙間によるもので、異常ではありません。）

旧公団用便器への取り付け

1 ストッパーをはずし、ノックアウトを取りはずす。

ノックアウト

ストッパー

はずす

はずす

裏

2 ストッパーを旧公団用の穴へ付け替える。

ストッパー

差し込む

旧公団用取付穴

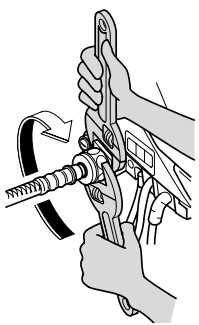
裏

3 連結ホースの接続

1 ウォシュレット本体の給水口に連結ホースの袋ナットを締め付ける。

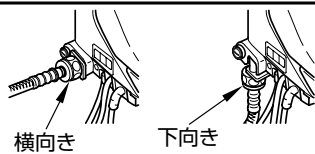
注意

必ず給水口をモンキーレンチで固定して連結ホースを接続してください。
(無理な力を給水口に加えると給水口が破損して水漏れる原因になります。)



POINT!

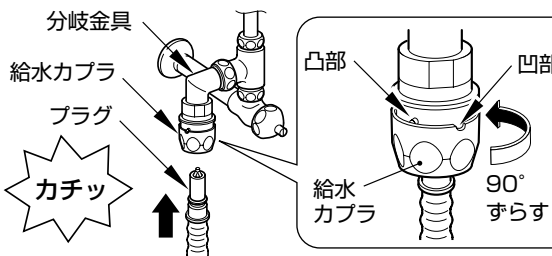
ウォシュレット本体の給水口は下向きと横向きに回転します。ワンピース便器の場合は給水口を横向きにしてください。



2 連結ホースのプラグ側を分岐金具の給水カプラに差し込む。給水カプラの凹部と凸部を90°ずらす。

POINT!

「カチッ」と音がするまで差し込んでください。



3 連結ホースを取り付けた状態で、本体を取りはずしたり取り付けたりできる長さがあるか確認する。

※ 連結ホースの長さが足りないときは下記の中から適切な長さのホースを選んでご購入ください。(同商品の連結ホースの長さは970mmです。) お求めはTOTOパーツセンター ☎0120-8282-55へお電話ください。

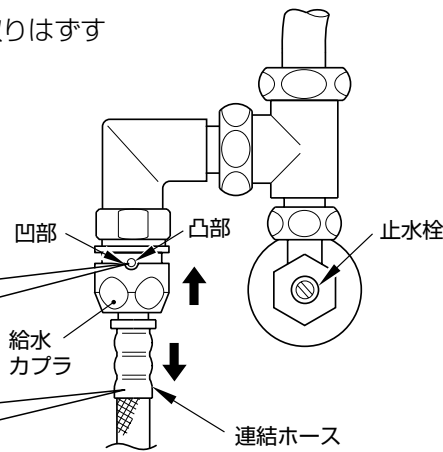
連結ホース長さ (mm)	品番
1180	D24009ZRt5
1480	D24009ZRt6
1980	D24009ZRt7

※分岐金具の給水カプラは一時止水機能付ですが、連結ホースをはずすときは必ず止水栓を閉めてください。

連結ホースのはずしかた

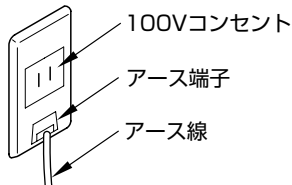
※ 施工のやり直しなどで連結ホースを取りはずすときは、次の手順で行ってください。

- 1 止水栓を閉める。
- 2 ロータンクの水を流す。
- 3 給水カプラの凹部と凸部を合わせ押し上げる。
- 4 給水カプラを押し上げたまま連結ホースを引き抜く。



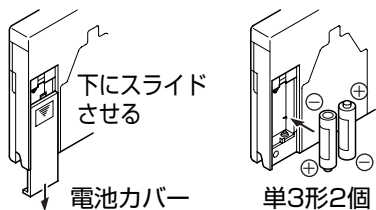
4 アース線の接続

- アース線をコンセントのアース端子に接続する。
- ※ アース端子がない場合は電気工事店にご相談ください。



5 リモコンの取り付け

1 電池カバーを開け、リモコンに乾電池を入れる。

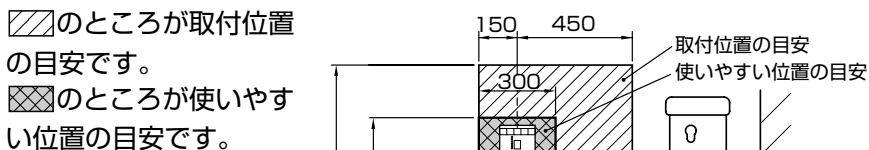


※ ⊕ ⊖ を間違えないでください。

2 リモコンの取付位置を決める。

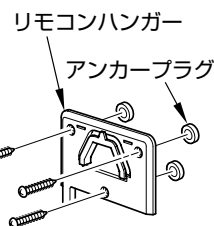
注意

※ 取り付けにあたっては取付予定位置でリモコンを操作して、おしり洗浄がはたらくことを確認してください。
※ らくらくリモコンを併設する場合は、らくらくリモコンの施工説明書をご確認のうえ、取り付けてください。

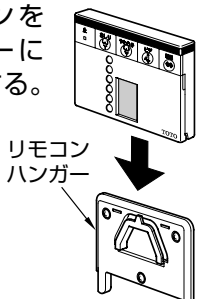


3 リモコンハンガーをねじで壁に取り付ける。

- 壁にφ3の下穴をあけると取り付けやすくなります。
- 石膏ボードやタイル壁の場合はφ6、深さ33mmの下穴をあけ付属アンカープラグを使って取り付けてください。



4 リモコンをハンガーにセットする。

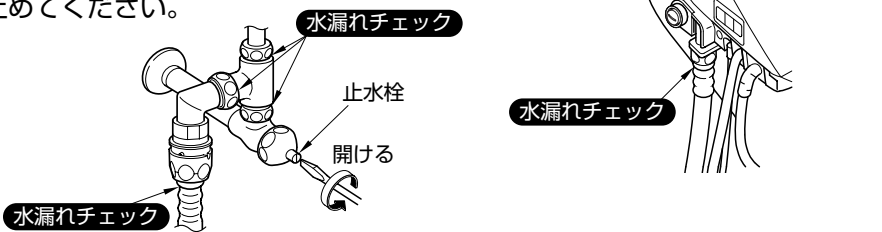


試運転

● 取付作業が完了したら次の手順で試運転を行ってください。

1 水漏れの点検

- 給水の前に配管接続部のゆるみがないか、再確認する。
- 止水栓を開いて配管接続部から水漏れがないことを確認する。
- ウォシュレット本体の給水接続部より水漏れがないことを確認する。
- ※ 万一水漏れがあれば、再施工を行い水漏れを止めてください。



2 漏電保護プラグの確認

1 漏電保護プラグを100V (50/60Hz) のコンセントに差し込む。

CHECK!

ノズルが一旦出て戻る初期動作を行うか確認してください。

2 漏電保護プラグの「入」・「切」ボタンを押して、正常に作動することを確認する。

CHECK!

切 (テスト) ボタンを押す → 切表示が赤色
入 (リセット) ボタンを押す → 切表示が白色
以上の動作であれば正常です。

切表示が赤色の状態では通電されません。テスト後は必ず入 (リセット) ボタンを押してください。

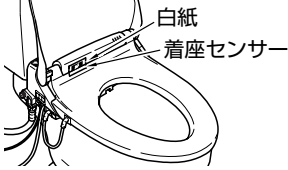
※ 切表示にはランプ表示のものもあります。

試運転

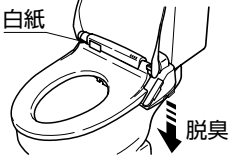
3 機能の確認

- 着座センサーを白紙でおおう。

POINT!
着座センサーを白紙でおおうと着座センサーが検知した状態になります。(便座を閉めないで着座センサーははたらきません。)


- 脱臭機能を確認する。

CHECK!

 - 本体の背面右側の吹出口より風が出ていますか?
- パワー脱臭機能を確認する。

CHECK!

 - リモコンのカバーを開けて **パワー脱臭 入/切** を押すと風が強くなりますか?
 - もう一度、**パワー脱臭 入/切** を押すと元の強さに戻りますか?
- オートパワー脱臭機能を確認する。

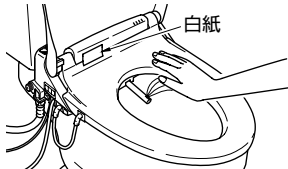
CHECK!

 - 白紙をはずしたときに風が強くなりますか?
 - 1分後に自動的に止まりますか?
- 洗浄機能を確認する。(もう一度、着座センサーを白紙でおおってください。)

CHECK!

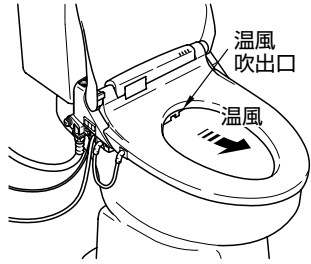
 - **おしり** **ひざ** **ひざ** を押すとノズルから適温の温水が出ますか?
 - 水勢調節スイッチ **強** **弱** を押すと水勢が変化しますか?
 - 本体から水漏れはありませんか?
 - **止** を押すと止まりますか?

POINT!
吐水は手のひらで受けてください。




- 乾燥機能を確認する。(C2・C2A・C3・C3A・C4・C4Aのみ)

CHECK!

 - **乾燥** を押すと温風がノズルの右側から出ますか?
 - **止** を押すと止まりますか?
- 室内暖房機能を確認する。(C4・C4Aのみ)

CHECK!

 - 室内暖房操作部の室内暖房 **入/切** を押すと、本体の右側から温風が出ますか?
 - もう一度スイッチを押すと、約10秒後に温風が止まりますか?
 - 室温が20～33℃のときは10秒間だけ温風が出ます。それ以上の室温のときは温風は出ません。
 - 設定温度より室温が高くなると、温風が自動的に止まります。
- 暖房便座機能を確認する。

CHECK!
便座があたたまるまで約15分かかります。
- 着座センサーの白紙をはずす。

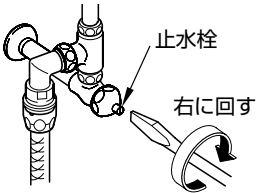
給水フィルターの掃除

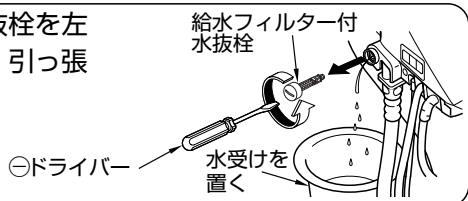
- 試運転後は必ず給水フィルターを掃除してください。(給水フィルターにごみが詰まると、おしり・ビデ洗浄時の水勢が弱くなります。)

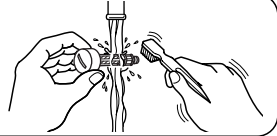
- 止水栓を閉めて給水を止める。

 - ロータンクの水を流してください。(給水管内の圧抜きです。)

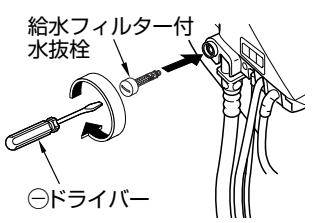
注意
止水栓を開けたままで給水フィルター付水抜栓をはずさない。(水が噴き出します。)


- 給水フィルター付水抜栓を左に回してゆるめた後、引っ張ってははずす。


- 給水フィルターを水洗いする。

 - 小さなゴミは歯ブラシなどで確実に取り除いてください。
- 給水フィルター付水抜栓を押し込み、右に回して止まるまで確実に締める。

注意
給水フィルター付水抜栓は確実に締める。(確実に締めないで水漏れの原因になります。)


- 止水栓を開ける。
- 給水フィルター付水抜栓部から水漏れがないことを確認する。

凍結のおそれがあるときの処置

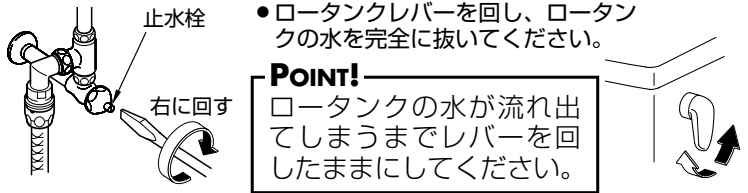
- お客様に引き渡されるまでに凍結のおそれがあるときは、漏水事故予防のため、次の要領で水抜きしてください。(漏電保護プラグは差し込んだままにしてください。)

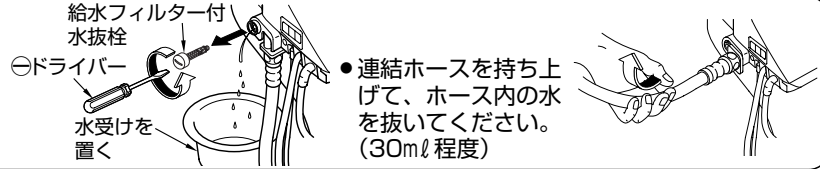
- ロータンクの水を抜く。

 - 止水栓を閉めて給水を止めてください。

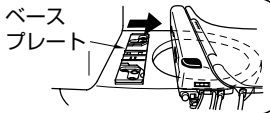
注意
止水栓を開けたまま給水フィルター付水抜栓をはずさない。(水が噴き出します。)

POINT!
ロータンクの水が流れ出てしまうまでレバーを回したままにしてください。


- 配管の水を抜く。

 - 給水フィルター付水抜栓を左に回してゆるめた後、引っ張ってははずしてください。
 - 連結ホースを持ち上げて、ホース内の水を抜いてください。(30ml程度)
- 本体を便器から取りはずす

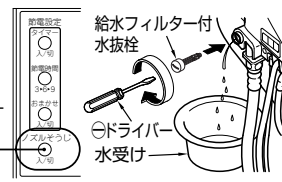
※水抜きレバーの操作は、本体を便器からはずした状態でないとできません。

 - 取りはずした本体は便器上面の前側に置いてください。(右図参照)
- 水抜きレバーを「開」位置にする。


 - 本体下側から水(40ml程度)が便器内に出たあと、さらにノズルの水抜きのため、自動的にポンプが作動します。
 - ※ 本体を傾けたりしないでください。(水が便器の外に出ることがあります。)
- 水抜きレバーを「閉」位置にする。
- 本体を取り付ける。
- 給水フィルター付水抜栓をはずして、リモコンのノズルそうじスイッチを押す。(製品内部の残水を抜きます。)

 - 水抜きが終わったら、給水フィルター付水抜栓を押し込み、右に回して止まるまで確実に締め、もう一度ノズルそうじスイッチを押す。

注意
給水フィルター付水抜栓は確実に締める。(確実に締めないで水漏れの原因になります。)



工事店様へ

- 取扱説明書の最終ページの保証書に必要事項を記入のうえ、必ずお客様にお渡しください。
- ウォシュレットの機能、使いかたについてお客様に説明してください。新築などでお客様に引き渡すまでに時間があるときは、漏電保護プラグを抜いておいてください。